

検証・日本映画⑤ 没後10年 松竹大船の天才 木下恵介

2/13 (金)	遠い雲 二人で歩いた幾春秋	10:30 / 14:30 / 18:30 12:35 / 16:35 / 20:35 (終映22:15)
14 (土)	野菊の如き君なりき 二十四の瞳〈デジタルリマスター版〉	12:40 / 17:25 9:50 / 14:35 / 19:20 (終映21:55)
15 ⓪	喜びも悲しみも幾歳月 トークショー ゲスト:山田太一さん & 横堀幸司さん 植山節考	11:50 / 17:30 14:50 9:55 / 15:40 / 20:35 (終映22:15)
16 (月)	陸軍 花咲く港〈デビュー作〉	12:00 / 15:25 / 18:50 10:25 / 13:50 / 17:15 / 20:40 (終映22:05)
17 (火)	大曾根家の朝〈あした〉 お嬢さん乾杯	12:00 / 15:25 / 18:50 10:20 / 13:45 / 17:10 / 20:35 (終映22:05)
18 (水)	破れ太鼓 カルメン故郷に帰る	11:25 / 15:10 / 18:55 9:45 / 13:30 / 17:15 / 21:00 (終映22:25)
19 (木)	女の園 日本の悲劇	13:00 / 17:50 10:50 / 15:40 / 20:30 (終映22:25)
20 (金)	笛吹川 風花〈かざはな〉	11:15 / 15:00 / 18:45 9:45 / 13:30 / 17:15 / 21:00 (終映22:20)
21 (土)	香華〈こうげ〉 前編 後編	10:10 / 14:10 / 18:10 12:00 / 16:00 / 20:00 (終映21:55)

新文芸坐友の会 スペシャルウィーク

新文芸坐友の会の入場ポイントが2ポイントに!!
(新文芸坐友の会については、お問い合わせください。)

2/22 ⓪	僕らのミライへ逆回転 (2008・米／東北新社) BE KIND REWIND 監督・脚本:ミシェル・ゴンドリー 出演:ジャック・ブラック、モス・デフ、ダニー・グローヴァー、ミア・ファロー ひょんなことからおんぼろレンタルビデオ店のVHSを全てだめにしてしまった店員とその悪友は、急場しのぎでチープなリメイクを作り始める……。笑いと感動でCG全盛のハリウッドを皮肉った快作。	
24 (火)	イントウ・ザ・ワイルド (2007・米／スタイルジヤム) INTO THE WILD 製作・監督・脚本:ショーン・ベン 出演:エミール・ハーシュ、ハル・ホルブルック、キャサリン・キーナー、ウィリアム・ハート 1992年、アラスカの荒野で一人の若者の死体が発見される。エリートコースを捨てた彼の2年に及ぶ旅の足跡を追いつつ、本当の自由と幸福、そして人間の絆を描く青春映画の新たな傑作。 ★キネマ旬報ベストテン 第4位 ★ゴッサム賞 作品賞 ★ナショナル・ボード・オブ・レビュー選出	
	僕らのミライへ逆回転	13:10 / 17:55
	イントウ・ザ・ワイルド	10:25 / 15:15 / 20:00 (終映22:30)

世界名作シリーズ④ 懐かしのハリウッドの名匠たち

2/25 (水)	デヴィッド・リー	戦場にかける橋 (ラスト1本割引はございません)	10:05 / 13:10 / 16:15 / 19:20 (終映22:10)
26 (木)	ウィリアム・ワイラー	ベン・ハー (ラスト1本割引はございません)	10:00 / 14:15 / 18:30 (終映22:30)
27 (金)	フレッド・ジンネマン	地上より永遠に〈ここよりとわに〉 わが命つきるとも	9:45 / 14:05 / 18:25 11:55 / 16:15 / 20:35 (終映22:35)
28 (土)	スタンリー・キューブリック	博士の異常な愛情 2001年宇宙の旅	12:50 / 17:30 10:05 / 14:45 / 19:25 (終映21:55)
3/1 ⓪	エリア・カザン	波止場 エデンの東	9:45 / 14:05 / 18:25 11:55 / 16:15 / 20:35 (終映22:30)
2 (月)	ウィリアム・ワイラー	ローマの休日 ロミオとジュリエット	13:00 / 17:50 10:30 / 15:20 / 20:10 (終映22:30)
3 (火)	セシル・B・デミル	十戒 (1956) (ラスト1本割引はございません)	9:55 / 14:10 / 18:25 (終映22:30)

当日料金 一般1300円、学生1200円、友の会・シニア・身障者1000円、ラスト1本800円(1本立てを除く)
前売券1100円([木下恵介特集]は2/12(木)まで、「僕らのミライ…」&「イントウ…」は2/21(土)まで、[ハリウッド特集]は2/24(火)まで販売)
3回券3000円([木下恵介特集]は2/17(火)まで、[ハリウッド特集]は2/28(土)まで販売)

検証・日本映画⑤

没後10年

松竹大船の天才

木下恵介

2/15 ⓪ 14:50～

トークショー

山田太一さん

脚本家・小説家

横堀幸司さん

映像作家

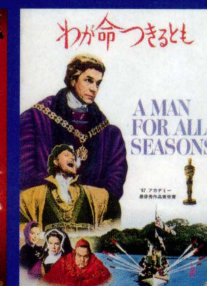
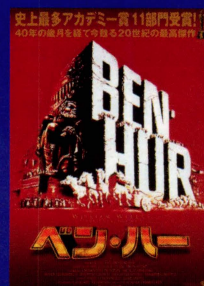
木下組元チーフ助監督



世界名作シリーズ④

2/25(水)～3/3(火)

懐かしのハリウッドの名匠たち



デヴィッド・リー
ウィリアム・ワイラー
フレッド・ジンネマン
スタンリー・キューブリック
エリア・カザン
フランコ・ゼフィレリ
セシル・B・デミル



感動はスクリーンから

新文芸坐
MARUHAN
豊島区東池袋1-43-5 マルハン池袋ビル3F
池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422
<http://www.shin-bungeiza.com>

2/13
(金)

遠い雲 (1955) 白黒・スタンダード・99分
[脚]木下恵介、松山善三 [出]高峰秀子、佐田啓二、高橋貞二、田村高廣 ■飛騨高山を舞台にしたメロドラマ。故郷に帰省した男性が、かつての恋人が未亡人となっているのを知り、想いが再燃するが…。



©1955 松竹株式会社

14
(土)

野菊の如き君なりき (1955) 白黒・スタンダード・92分
[原]伊藤左千夫 [脚]木下恵介 [出]有田紀子、田中晋二、田村高廣、笠智衆 ■信州の旧家に育った少年と従姉の悲恋。回想シーンは楕円形に画面の周囲をぼかす手法が用いられた。★キネ旬3位



©1955 松竹株式会社

15
(日)

喜びも悲しみも幾歳月 (1957) カラー・スタンダード・162分
[原・脚]木下恵介 [出]高峰秀子、佐田啓二、田村高廣、中村賀津雄(嘉寿雄) ■昭和7年の結婚早々の赴任を振り出しに、灯台守一家の25年を、全国縦断ロケで描いた大河ドラマ。★キネ旬3位 ★芸術祭賞



©1957 松竹株式会社

16
(月)

陸軍 (1944) 白黒・スタンダード・87分
[原]火野葦平 [脚]池田忠雄 [出]田中絹代、笠智衆、上原謙、佐分利信、佐野周二、三津田健 ■西南戦争、日清、日露、太平洋戦争を背景にした一家・三代の物語。出色のラストが軍部の反感を買った。



©1944 松竹株式会社

17
(火)

大曾根家の朝〈あした〉 (1946) 白黒・スタンダード・16mm・80分
[脚]久板栄二郎 [出]杉村春子、三浦光子、小沢栄太郎、賀原夏子、長尾敏之助 ■『陸軍』以来となる戦後初監督作。軍人の叔父に苦渋を飲まされた一家が、終戦後平安を取り戻すまで。★キネ旬1位



©1946 松竹株式会社

18
(水)

破れ太鼓 (1949) 白黒・スタンダード・108分
[脚]木下恵介 [脚・助]小林正樹 [出]阪東妻三郎、森雅之、小林トシ子 ■阪妻主演作として京都撮影所で演出。一代で財を成した頑固親父とその家族を描く喜劇。実弟、木下忠司も出演。★キネ旬4位



©1949 松竹株式会社

19
(木)

女の園 (1954) 白黒・スタンダード・141分
[原]阿部知二 [脚]木下恵介 [出]高峰三枝子、高峰秀子、岸恵子、久我美子、田村高廣 ■名門女子大で、封建的な管理教育に反発が広がるシリアス・ドラマ。★キネ旬2位 ★[毎]監督賞 ★[毎][フ]脚本賞



©1954 松竹株式会社

20
(金)

笛吹川 (1960) カラー・シネスコ・117分
[製・脚]木下恵介 [原]深沢七郎 [出]高峰秀子、田村高廣、市川染五郎(幸四郎) ■戦乱に翻弄される半農の足軽一族を通し、民衆の立場から戦国時代を描く。特殊色彩を用いた異色作。★キネ旬4位



©1960 松竹株式会社

21
(土)

香華(こうげ) (1964) 白黒・シネスコ・202分
[製・脚]木下恵介 [出]岡田茉莉子、乙羽信子、田中絹代、杉村春子、加藤剛、岡田英次 ■幼くして芸者に売られた娘の半生を通して、淫蕩な母親との愛憎を描く大河ドラマ。★キネ旬3位 ★芸術選奨



©1964 松竹株式会社

二人で歩いた幾春秋 (1962) 白黒・シネスコ・102分
[製・脚]木下恵介 [原]河野道工 [出]高峰秀子、佐田啓二、山本豊三、久我美子、倍賞千恵子 ■復員後、道路工夫となった男とその妻。息子の将来のために懸命に生きる夫婦の16年の歳月を綴る。



©1962 松竹株式会社

二十四の瞳(デジタルリマスター版) (1954) 白黒・スタンダード・154分
[原]壺井栄 [脚]木下恵介 [出]高峰秀子、月丘夢路、田村高廣、笠智衆 ■小豆島に赴任した女教師と12人の生徒の師弟愛を年代記風に綴る。★キネ旬1位 ★[毎]作品・監督賞 [毎][フ]脚本賞 ★芸術祭賞



©1954 松竹株式会社

楢山節考 (1958) カラー・シネスコ・98分
[原]深沢七郎 [脚]木下恵介 [出]田中絹代、高橋貞二、望月優子 ■姥捨て伝説を題材にした同名小説、初の映画化。オールセット&歌舞伎の様式を採り入れた。★キネ旬1位・監督賞 ★[毎]作品・監督賞



©1958 松竹株式会社

花咲く港 (1943) 白黒・スタンダード・82分
[原]菊田一夫 [脚]津路嘉郎 [出]上原謙、小沢栄太郎、水戸光子、笠智衆、東山千栄子 ■ヒット舞台劇の映画で、初の監督作。2人のベテナーの企みが思わぬ展開をみせていくことに…。★映画評論4位



©1943 松竹株式会社

お嬢さん乾杯 (1949) 白黒・スタンダード・89分
[脚]新藤兼人 [出]原節子、佐野周二、佐田啓二、東山千栄子 ■事業に成功した青年と、没落華族の令嬢との見合いをめぐるコメディ。戦後の世相を巧みに反映した、明朗な“大船調”作品。★キネ旬6位



©1949 松竹株式会社

カルメン故郷に帰る (1951) カラー・スタンダード・86分
[脚]木下恵介 [出]高峰秀子、小林トシ子、佐野周二、佐田啓二、笠智衆 ■日本初のオール・カラー劇映画。里帰りしたストリップ嬢をめぐる珍騒動を描く。高峰は木下映画初出演。★キネ旬4位 ★[毎]脚本賞



©1951 松竹株式会社

日本の悲劇 (1953) 白黒・スタンダード・116分
[脚]木下恵介 [出]望月優子、桂木洋子、田浦正巳、佐田啓二、上原謙 ■女手ひとつで息子と娘を育て上げた戦争未亡人がたどる悲劇。元々は独立プロの企画だった。★キネ旬6位 ★[毎][フ]脚本賞



©1953 松竹株式会社

風花(かざはな) (1959) カラー・シネスコ・78分
[脚]木下恵介 [出]岸恵子、久我美子、有馬稲子、川津祐介、笠智衆 ■信州の旧家で肩身の狭い暮らしをする女性を軸に、過去と現在を自在に錯せて描く野心作。岸は結婚・渡仏以来、久々の映画出演。



©1959 松竹株式会社

[製]=製作 [監]=監督 [原]=原作 [脚]=脚本 [特]=特撮 [助]=助監督 [出]=出演 ※木下恵介監督作品は全て松竹配給。

[毎]=毎日映画コンクール [フ]=ブルーリボン賞 [A]=アカデミー賞 [B]=英国アカデミー賞 [G]=ゴールデングローブ賞 [NB]=ナショナル・ボード・オブ・レビュー [NY]=ニューヨーク映画批評家協会賞 [KC]=カンザスシティ映画批評家協会賞

2/25
(水)

戦場にかける橋 (米・1957/SPE) カラー・シネスコ・162分
The Bridge on the River Kwai
[監]D・リーン [出]ウィリアム・ホールデン、アレック・ギネス、早川雪洲 ■太平洋戦争下、連合軍捕虜と日本軍所長の橋梁建設の対立を通して戦争の愚かさを描く。★[A]作品・監督賞他、全7部門 ★キネ旬5位



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

26
(木)

ベン・ハー (米・1959/ワーナー) カラー・シネスコ・222分
Ben-Hur
[監]W・ワイラー [出]チャールトン・ヘストン、ステイヴン・ボイド ■ユダヤ人青年の数奇な運命を、キリスト誕生から受難までを交えて描く歴史スペクタクル。★[A]作品・監督賞他、全11部門 ★[フ]9位



© 2009 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved

27
(金)

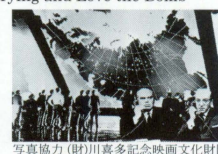
地上より永遠に(ここよりとわに) (米・1953/SPE) カラー・スタンダード・118分
From Here to Eternity
[監]F・ジンネマン [出]モンゴメリー・クリフト、パート・ランカスター ■日本軍奇襲直前のパールのハーバーを舞台に、軍隊の腐敗と兵士個々の愛憎を描く群像劇。★[A]作品・監督賞他、全8部門 ★[フ]10位



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

28
(土)

博士の異常な愛情 (1964・米/SPE) 白黒・ビスタ・92分
または私は如何にして心配するのを止めて 水爆を愛するようになったか
Dr. Strangelove or: How I Learned to Stop Worrying and Love the Bomb
[製・監・脚]S・キューブリック [出]ピーター・セラーズ、ジョージ・C・スコット ■核戦争の脅威を描くシニカルなブラック・コメディ。★[B]作品・美術監督賞他 ★[NY]監督賞



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

3/1
(日)

波止場 (米・1954/SPE) 白黒・スタンダード・108分
On the Waterfront
[監]E・カザン [出]マーロン・ブランド、エヴァ・マリー・セイント ■労働者が悪徳ボスに支配されている港町を舞台に、愛情に目覚めた青年が人立ち上がる! ★[A]作品・監督賞他、全8部門 ★キネ旬4位



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

2
(月)

ローマの休日 (米・1953/パラマウント) 白黒・スタンダード・118分
Roman Holiday
[製・監]W・ワイラー [出]グレゴリー・ベック、オードリー・ヘプバーン ■銀幕の妖精、オードリーの出世作。製作50周年にデジタル・ニューマスター化。★[A]主演女優・原案・衣裳デザイン賞★キネ旬6位



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

3
(火)

十戒 (米・1956/パラマウント) カラー・ビスタ・223分
The Ten Commandments
[製・監]C・B・デミル [出]チャールトン・ヘストン、ユル・ブリンナー ■サイレント期の自作を、タイクーンとも言われたデミルが壮大なスケールで再映画化した宗教劇。★[A]特殊効果賞 ★[NB]主演男優賞



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

デヴィッド・リーン(David Lean・英・1908〜91)『戦場〜』と『アラビアのロレンス』で2作連続のアカデミー監督賞。
ウィリアム・ワイラー(William Wyler・仏・1902〜81)歴代2位の監督賞3回、延べ14俳優のオスカー獲得は最多。
フレッド・ジンネマン(Fred Zinnemann・奥・1907〜97)2度のアカデミー監督賞と、製作の『わが命〜』では作品賞も。
スタンリー・キューブリック(Stanley Kubrick・米・1928〜99)『2001〜』の特撮でオスカー受賞他、延べ12の候補に。
エリア・カザン(Elia Kazan・トルコ・1909〜2003)監督賞2回と98年名誉賞。「アクターズ・スタジオ」創立メンバー。
フランコ・ゼフィレッリ(Franco Zeffirelli・伊・1923〜)『ロミオ〜』の監督賞候補で世界的巨匠に。美術賞候補歴も。
セシル・B・デミル(Cecil B.DeMille・米・1881〜1959)50年オスカー名誉賞、兼製作の『地上最大のショウ』で作品賞。

わが命つきるとも (米・1966/SPE) カラー・ビスタ・120分
A Man for All Seasons

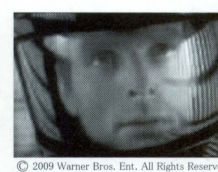
[製・監]F・ジンネマン [出]ポール・スコフィールド、ロバート・ショウ ■カトリック教義に背く英国王ヘンリー8世に異を唱えた高潔の士、トマス・モアの生き様を描く。★[A]作品・監督賞他、全6部門 ★キネ旬4位



写真協力 (財)川喜多記念映画文化財団

2001年宇宙の旅 (米・1968/ワーナー) カラー・シネスコ・149分
2001: A Space Odyssey

[製・監・脚・特]S・キューブリック [脚]アーサー・C・クラーク [出]キア・デュリア ■SFの金字塔。キネ旬・戦後1000号記念外国映画史上ベスト1。★[A]特殊視覚効果賞★[KC]作品・監督賞★映画評論1位



© 2009 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved

エデンの東 (米・1955/ワーナー) カラー・シネスコ・115分
East of Eden

[製・監]E・カザン [原]ジョン・スタインベック [出]ジェームス・ディーン、ジュリー・ハリス ■伝説のスター、ジミーの没後50周年を機にデジタル・リマスターされた青春映画の名作。★[G]作品賞 ★キネ旬1位



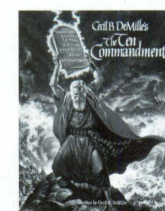
© 2009 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved

ロミオとジュリエット (英・伊・1968/パラマウント) カラー・ビスタ・138分
Romeo and Juliet

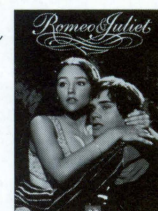
[監・脚]F・ゼフィレッリ [出]レナード・ホワイティング、オリヴィア・ハッサー ■原作の設定に基づき、初々しい新人を配したシェイクスピア劇。★[NB]監督賞 ★[A]撮影・衣裳デザイン賞 ★キネ旬2位



© 2009 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved



十戒
スペシャル・コレクターズ・エディション
発売元:パラマウント ジャパン
価格: ¥2625(税込)
グレイテストヒッツ 発売中



ロミオとジュリエット
発売元:パラマウント ジャパン
価格: ¥1500(税込)
ハッピーザベスト! 発売中

木下恵介(きのした・けいすけ)1912(大正元)年12月5日、静岡県浜松市生まれ。33年に松竹に入社し、島津保次郎監督の助監督を務めた後、43年『花咲く港』で監督昇進。同年監督デビューした黒澤明とともに日本映画界を担う巨匠となる。また『二十四の瞳』がゴールデングローブ賞外国映画賞を受賞、『永遠の人』(61)がアカデミー外国語映画賞にノミネートされるなど、海外でも評価されている。『香華』完成後、松竹を離れ「木下プロ」を設立し、テレビドラマでも手腕を発揮した。77年、紫綬褒章、84年、勲四等旭日小綬章、91年、文化功労者。98(平成10)年12月30日、脳梗塞のため86歳で逝去。99年、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞、エランドール賞で特別賞が贈られた。『わが恋せし乙女』(46)以降、音楽を手がけた木下忠司は実弟。